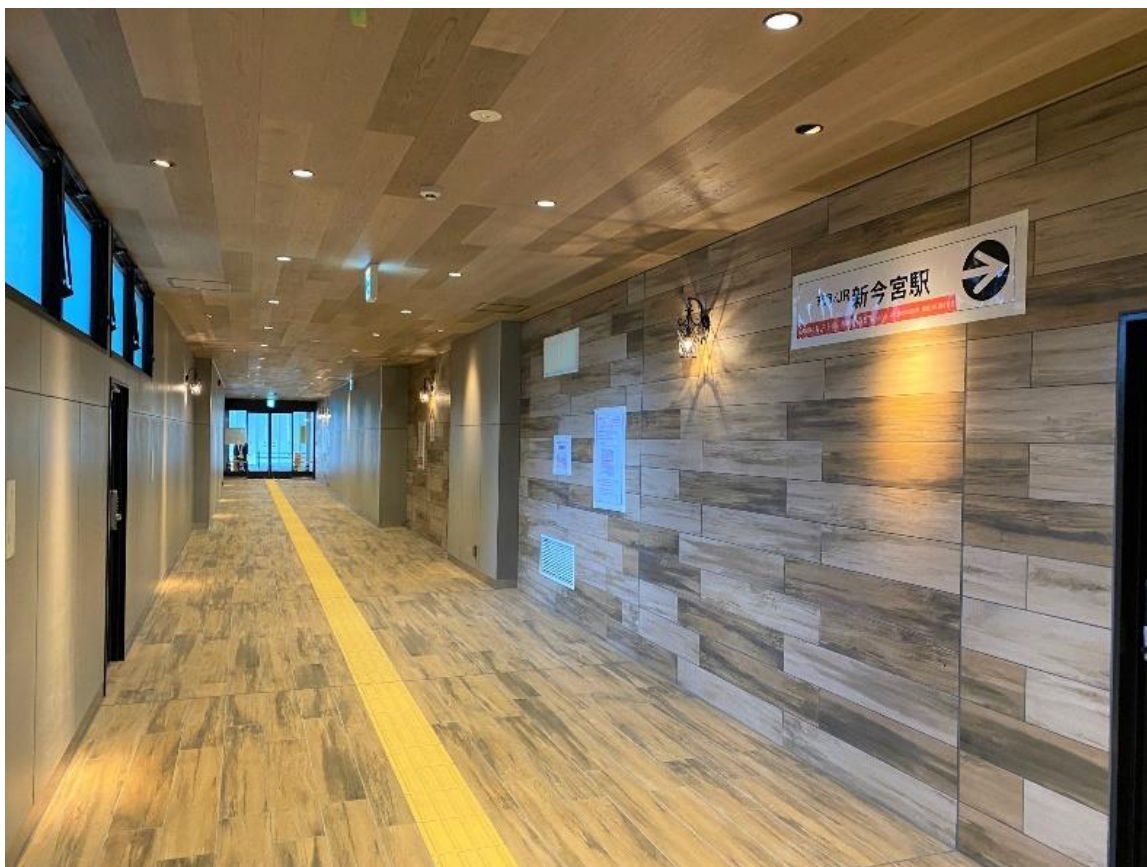


2022年2月22日
南海電気鉄道株式会社

難波から新今宮・新世界への南北軸形成に向けた基軸となる駅を目指して
新今宮駅 リニューアル工事が完了します
～2022年3月26日(土)始発から供用開始～



※南北通路(2022年2月時点)

南海電気鉄道株式会社(代表取締役社長:遠北 光彦)は、2020年10月19日からリニューアル工事を進めてきた新今宮駅について、**2022年3月26日(土)の始発からリニューアル部分の供用を開始**いたします。

難波駅に次ぐ乗降客数を誇る新今宮駅の東側では、「OMO7(おもせぶん)大阪 by 星野リゾート」が2022年4月22日(金)に開業を予定するなど、取り巻く環境が大きく変化しており、同駅も新今宮・新世界エリアのまちづくりの一環として大きな役割があるという認識からリニューアル工事を進めて参りました。

主な実施施策としましては、**①改札口の1階移設 ②エレベーターの大型化 ③南北通路の美装化など**、駅構内の環境改善を行い、お客さまの更なる利便性・満足度の向上を図りました。詳細は、以下のとおりです。

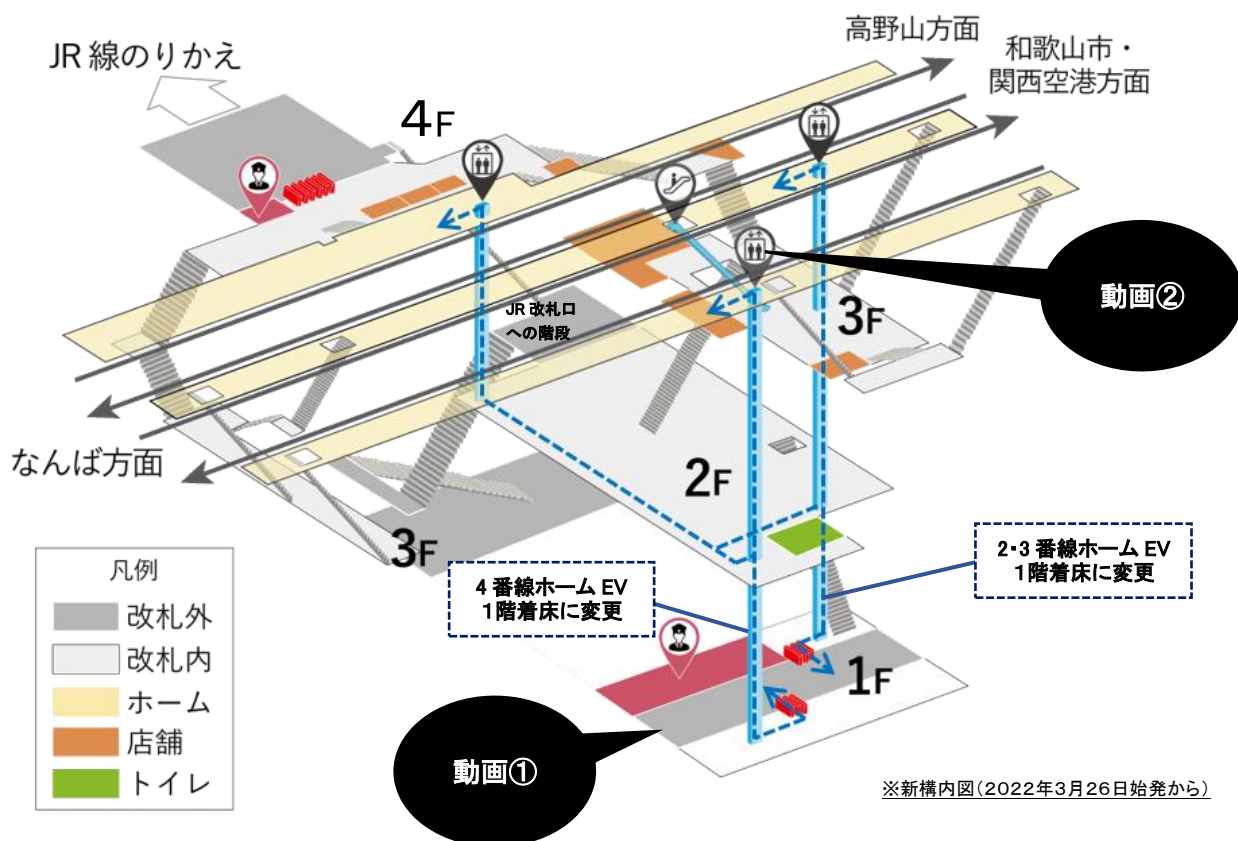
南海グループでは、SDGsへの取組みを強化しており、関連するニュースリリースに「SDGsの目標アイコン」を明示しています。今回ご案内の取組みは、11番に繋がるものです。





★主なりニューアルポイント(動画)

具体的なイメージをお持ちいただく一助として、各ポイントでの利用シーンを想定した動画をご用意しました。

※実施施策の詳細な説明につきましては、3ページ目以降の(1)～(3)で記載しています。



※改修前(従前)と同様に、EV(エレベーター)は、各ホーム(1番線ホーム、2・3番線ホーム、4番線ホーム)から、2階で乗換えていただくことができます。

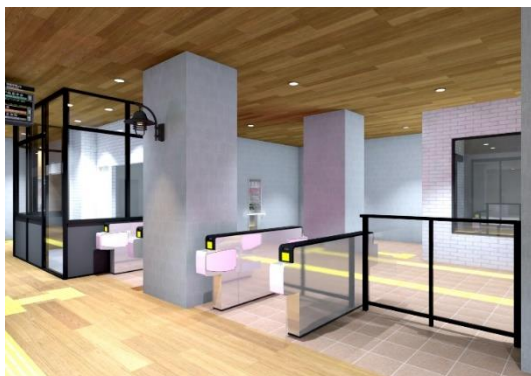
内容	ログインはこちら	
動画①:「南北通路の美装化と1階東西改札口」 南北通路を、北側から入場し、 1階改札口設置予定場所の前を通り、南側へ【約55秒】	https://youtu.be/oYnuh_dPnqI	
動画②:「エレベーターの大型化と1階着床」 4階4番線ホーム(南海本線上り列車発着)から 大型エレベーターを利用し、1階西側改札へ【約35秒】	https://youtu.be/ZDI7IZxzzGc	

(1)お客さま動線の単純化による利便性の向上

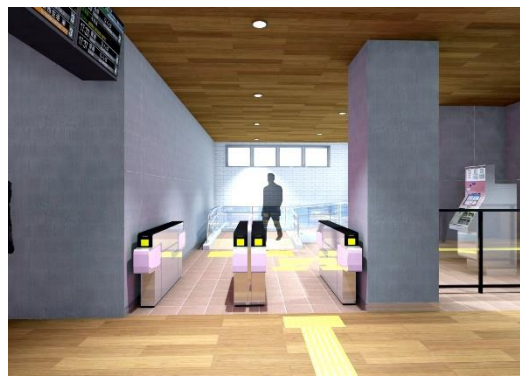
①改札口を1階へ移設

2階にあった改札口を1階南北通路両側(東・西)に移設します。

※なお、2階にあった改札口は撤去します。



1階東側改札口(改札外からの視点)



1階西側改札口(改札外からの視点)

②エレベーターを1階着床に変更&大型化

1階への改札口移設に伴い、4番線ホーム(南海本線上り列車発着)、2・3番線ホーム(高野線上り列車、南海本線下り列車発着)とそれぞれのフロアを結ぶエレベーターを1階着床に変更します。また、4番線ホーム(南海本線上り列車発着)を結ぶエレベーターを大型化します。大型化によって、特に、大きな荷物をお持ちのお客さまが利用しやすい環境を整備します。

対象エレベーター		BEFORE	AFTER
4番線ホームのエレベーター (南海本線上り列車発着)	停止フロア	2・4階	<u>1</u> ・2・4階
	定員	11名	<u>24</u> 名
2・3番線ホームのエレベーター (高野線上り列車、南海本線下り列車発着)	停止フロア	2・3・4階	<u>1</u> ・2・3・4階

※なお、1階から2階へ向かうエレベーター(改札外)は撤去します。

★大型化した4番線ホームのエレベーター



【BEFORE】



【AFTER】

(2)お客さま対応機能の強化

1階東側改札口に、オープンカウンターの駅務室を併設し、特急券や企画乗車券の発売などを行います。



1階東側改札口(南側からの視点)



1階東側改札口(北側からの視点)

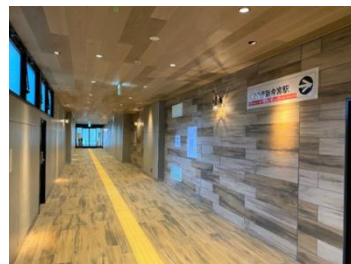
(3)美装化によるイメージ改善

お客さまの主動線となる「1階南北通路」と「駅外壁を」美装化します。



【BEFORE】

全体的に暗いトーンの
通りとなっていた。



【AFTER】

全体を通して木目調のタイルで統一し、
あたたかい雰囲気醸成。

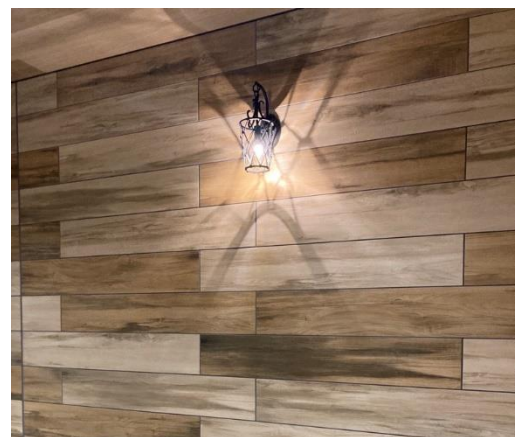
南北通路 デザインのこだわり

(1)木目調&緑を軸として

新今宮駅を境に南側と北側(難波駅などの方面)に入口が分かりますが、「両側のエリアから、公園のように誰もが気兼ねなく安心して利用できる南北通路に」という想いを込めて、あたたかみのある雰囲気を醸成できる「木目調」「緑」を軸としたデザインにしました。

(2)ひだまり・木漏れ日を表現

立地上、光が入り込みにくい通路ですが、上記記載のとおり、明るくあたたかみある雰囲気の醸成を目指し、「ひだまり」や「木漏れ日」をイメージして、主の照明と色味の異なる「装飾用照明」を設置しました。



以上